アルインコ

DCR-PRO 登録局シリーズ　共通　クローンユーティリティ取扱い説明書

本プログラムはフリーソフトウエアです。ソフトウエアを利用するにあたってユーザー様（以下、利用者）は以下の事項をご理解、ご同意いただいたものとさせていただきます。

・本ソフトウエア（以下ソフトウエア）の著作権は、アルインコ株式会社に帰属します

・ソフトウエアは「フリーソフトウエア」として提供し、社会的な「フリーソフトウエア」の原則に準拠するものとします。プログラムの内容を人間が解釈できるような形に変換すること、記述されている版権や著作権表示を改変すること、記述内容を許可なく書き換えること、プログラムを悪用したり悪意ある形で配布したりすることは固く禁じられています。

・弊社では善意をもってソフトウエアを開発しましたが、使用に際して利用者に万一損害（金銭的・物的損害、使用されるパソコンにインストールされた他のソフトウエアへの不具合等）が発生しても、弊社は一切の責任を負わないものとさせていただきます。

・利用者は、ソフトウエアをメディアに入れて持ち運び、また無償であれば第三者に配布することができます。但し書籍やウエブサイトなどを通じて不特定多数への配布を目的とする場合は、事前にアルインコ（株）電子事業部 TEL:06-7636-2361 にご連絡ください。

１．クローンユーティリティについて

クローンユーティリティを使うと対応のデジタル簡易業務無線機に手動で行う設定をＰＣの画面上で行い、その設定内容を保存したり、別の個体にクローンしたりすることができます。またセキュリティのための暗証番号設定など、無線機側では設定できない項目も追加されます。まず製品に付属する取扱説明書を読みながら一通り本体の操作を行い、どのような機能なのかあらかじめ理解してからお使いください。ここでは各機能についての個別の説明はしていません。

このクローンユーティリティが対応する製品（以下、本体）には、プログラミング（以下、ファームウエア）が異なるバージョンが存在します。バージョンに関係なくお使いになれますが、本体がサポートしていないと、例えば暗証番号設定等は反映されません。サポートしない機能をご利用頂くためのファームウエア更新は、アフターサービスとして往復運賃のみ実費をご負担いただければ無償でご提供します。詳細は本書の巻末をご覧ください。

必要なもの

・Windows 7 / 8 / 10 を搭載したパソコン

※軽い単機能アプリですからＣＰＵやメモリーに特別な指定はありません。ＸＰ以前のＯＳでは使えません。

・車載機　PC 接続ケーブル ERW-7
・ハンディ機　PC 接続ケーブル　ERW-23　または　ERW-7＋EDS-14 変換ケーブル
※　PC ケーブルは説明書にしたがって事前にドライバーソフトをインストールしておいてください。WINDOWS10 では USB に接続して「準備ができました。」表示が出なければドライバーのインストールが必要です。

２．プログラムのインストール、起動と初期設定

インストールとアンインストール

　弊社ＨＰより「 DCR 2G Clone Utility ver.＊＊＊」zip（ ＊＊＊ の部分にはバージョン番号に相当する数字が入ります。）を任意の場所に解凍します。フォルダにある setup.exe を実行して、指示にしたがって管理者権限でインストールしてください。 アンインストールもウインドウズの「プログラムと機能」メニューから、同名のファイルを選んで通常のソフト同様に行えます。 ソフトの更新の際は、まず古いプログラムを削除してから新しいものをインストールしてください。

接続　＊必ずクローンユーティリティを起動する前に行ってください。
[DR-DPM60/M61 車載機]
ERW-7 をパソコンの USB 端子に接続し、もう一方のプラグを本体背面の外部ＳＰジャックに接続します。本体の電源を入れます。

[DJ-DPS70/S71 ハンディ機]
・ERW-23 のねじ込みプラグを本体上部のイヤホンマイク用ジャックに、しっかり止まるまでねじ込みます。
・EDS-14 を使用されるときは､ねじ込みプラグを本体上部のイヤホンマイク用ジャックに、しっかり止まるまでねじ込んだ後、ERW-7 をパソコンの USB 端子に接続し、もう一方のプラグを EDS-14 に付属の変換アダプタを使用して小さいほう(Φ2.5mm)のジャックに接続します。
本体の電源を入れます。

起動

デスクトップに作成されるショートカット「 DCR 2G Clone Utility ver.x.xx 」をダブルクリックします。オープニング画面が表示されてクローンユーティリティが起動します。

初期設定

COM ポートの設定を行います。 Windows のコントロールパネル内にあるデバイスマネージャーを開いて、「ポート（ COM と LPT ）」の項目にある「USB Serial Port」 の後にある COM ＊ の番号を控えます。クローンユーティリティの画面右端にある[COM1]のプルダウンで同じポート番号を選択します。USB Serial Port がデバイスマネージャーに表示されないときは、PC 接続ケーブル用のドライバーが正しくインストールされていません。以下の資料を参考に、ドライバーソフトをインストールしてください。
http://www.alinco.co.jp/division/electron/pdf/ERW-7driver+.pdf

３．操作

本体の電源が入り、接続ケーブルが正しく接続され、ユティリティが起動していることを確認します。画面右端の◎Ｓ７０ ◎Ｍ６０…の機種名セレクトサークルにチェックを入れて機種を選択します。機種によってセットモードタブの内容が変わるので、搭載していない機能はグレーアウトします。
※実際の長いデータを編集する前に、実際には使わない各種機能や文字入力なども含めてダミーのデータで適当に書き込みを行い、それらがどのように反映されるか確認されることをお勧めします。
一旦ユティリティを落として起動し直した状態が本体の初期値です。これを上書きすれば本体は初期値に戻ります。

・本体のデータを読み込む

画面の右端、ＣＯＭ設定の下にある「無線機から設定を読みだす」をクリックします。本体の画面に「通信モード」が表示され、ユティリティの右上の緑のプログレスバーで進行状態が確認できます。現在の本体の設定状態がユティリティに読み込まれます。本体の電源を切るか、次の書き込み動作をすれば本体の「通信モード」表示は消えます。

・編集したデータを書き込む

ユティリティ左上の「無線機との通信」から「無線機に設定を書き込む」を選んでクリックすると本体の画面に「通信モード」が表示され、ユティリティの右上の緑のプログレスバーで進行状態が確認できます。書き込みが終わると自動的に本体が再起動して新しい設定状態になります。

・データを保存する、開く

ユティリティ左上の「ファイル」から「保存」を選んで任意の名前を付けて、パソコン上の任意の場所に保存します。拡張子.S70 や.M60 のようなファイルが生成されます。同じく「ファイル」の「開く」から生成された任意のファイルを選んで「開く」をクリックすると

そのデータをユティリティに取り込んで、書き込みや編集ができます。

・編集画面を初期化する

ユティリティの全ての設定項目を初期状態に戻したいときは、以下のいずれかを行います。
１：ユティリティを新たに起動したばかりの初期状態で「初期状態.S70」のようなファイルを作っておき、それを読み込む。
２：ユティリティ右上隅のＸをクリックして終了、改めてユティリティを起動する。

・終了する

ユティリティ右上隅のＸをクリックして終了します。保存していないデータは失われます。
終了する際に「データを保存しますか」のような警告は出ませんのでご注意ください。
本体の電源を切り、ケーブルを外します。

「チャンネル毎の設定/ID ネーム/ショートメッセージ/オープニング画面」タブについて

① 全てのチャンネルに同じユーザーコード、秘話コード、秘話タイプと送信出力を設定したいときは画面中央あたりの「ＣＨ通信設定」ボタンで「全ＣＨで共通設定」を選びます。するとユーザーコード、秘話コード、秘話タイプと送信出力のボタンが有効になり、設定値が選べるようになります。

② チャンネルごとに別々の設定をするときは「ＣＨ通信設定」で「各チャンネルで個別設定」を選びます。共通設定のボタンは無効になりグレーアウトします。画面上部のテーブルで個別にチャンネルデータを編集します。
・Name を除く項目は、フレームの上の「すべてのチャンネルのデータを一括変更する」にチェックをしておけば、すべてのチャンネルに同じ設定が反映されます。途中で一括にしたくなったときは、チェックを入れてから同一にしたい値を改めて１度選びます。
・１：編集したいＣＨ番号をクリックして選択します。Name はＪＩＳ標準の漢字を含む文字数字記号が入力できます。使える文字数は操作画面に記載されています。
・２：pow はパワーです。プルダウンから任意の値を選びます。
・３：uc はユーザーコードです。プルダウンから任意の値を選びます。
・４：scrCode は秘話コードです。プルダウンから任意の値を選びます。
・５：scrType は強化秘話コードです。プルダウンから任意の値を選びます。
・６：skip はチャンネルスキャン時にそのチャンネルをスキャンする(オフ)、スキャンしない（オン＝スキップ)、が選べます。

③ ＩＤのテーブル
右端のスクロールバーを上下させるとＩＤ番号 001～200 とグループ番号 GRP01 ～10 のネームタグが編集できます。使える文字数は操作画面に記載されています。

④ ショートメッセージ欄

ショートメッセージ機能を使うときのメッセージが編集できます。使える文字数は操作画面に記載されています。

⑤ オープニング画面

本体の電源を入れたときに、任意の文字を最多４行まで画面に表示できます。使える文字数は操作画面に記載されています。

「セットモード/現在のチャンネル/キーロック」タブについて

本体のセットモード項目と同じ設定が、プルダウンから任意の値を選ぶことで可能になります。選んだ設定値は全てのチャンネルに反映されます。チャンネルごとに個別設定することはできません。拡張セットモード項目は、編集のみと操作を別にできるようになっています。最後の「拡張セットモード」を「有効」にすると操作できるようになります。

ショックセンサー関連項目については、弊社で実験して「マンダウン機能」（倒れて動かない状態が一定時間続いたら発報）に適すると思われる状態に初期設定しています。なお、部品の精度のバラツキで、クローンしても全ての個体が同じ状態で発報しないことが有ります。運用に障害がある時は個体ごとに数値を微調整してください。発報したい角度まで傾けても動作しないときは「傾斜判定角度」の数値を小さく、逆の場合は大きくします。

本体に実装されていない、このユティリティソフト専用の機能について

「セットモード～～」タブ

１：リセット禁止

オンを選ぶと誤って本体をリセットして全項目が初期化されるのを防げます。管理者が無線機の設定をしないユーザーに貸与する業務用途に必須の項目です。

２：現在のチャンネル（現チャンネル）

データを読み込んだ時に、本体に設定されていたチャンネル番号が読み込まれます。

「キーロック状態」をオンにするとき、違うチャンネルでキーロックしたければここで変更できます。キーロック状態がオフなら編集後 1 度だけこの設定のチャンネル番号で起動しますが、その後は反映されなくなります。

３：「セットモードへのアクセス禁止」

管理者が最適にした設定を、ユーザーが勝手に変更できなくするために使います。但し音質やビープ、ガイダンスなど、ユーザー個人の好みに合わせて細かくカスタマイズできたほうが便利な場合があります。そのときは次の項目の「セットモードに入るためのＰＩＮ」をお使いください。管理者がパソコンなしでセットモードに入れるようになります。

「チャンネル毎の設定～～」タブ

１：起動時のＰＩＮ設定（Personal ID Number）

電源を入れたときに暗証番号を入力しないと運用モードに入れないようにするには「起動ＰＩＮと何回間違ったらロックされるか」にチェックを入れます。
ＰＩＮは４桁の数字で、左から機能キー、▼キー、▲キー、戻るキーを、ＰＩＮに設定した回数だけ押します。
例：００００＝ＰＴＴキーだけを押す　／１２０３＝「機能」を１回、「▼」を２回、「戻る」を３回押す
暗証番号忘れとロックが掛かったときは、クローンユーティリティで新たな設定を上書きするしか解除方法はありません。この状態ではリセットを無効にしています。また、秘話番号などの設定を第三者に見られないように、この状態では読み出しはできなくしています。本来の業務用無線機では盗難対策と悪用防止のため、上書きのような簡単な方法ではセキュリティ解除をできなくしていますが、登録局なので敢えて甘くしました。

２：「セットモードに入るためのＰＩＮ」
セットモードに入るときの暗証番号を設定することができます。パソコンが不要になるので、リセット禁止と併用すれば、業務用途でのカスタマイズ管理がしやすくなります。

４．エラーについて

本体の電源を入れていない、ＣＯＭ番号や機種設定が合っていない、ケーブル不良（切れている、正しく装着されていない、ドライバーソフトが不正）のときはＥＲＲＯＲが表示されます。

５．ファームウエアの更新について

【ご注意】ＤＲ－ＤＰＭ６０には、本ユーティリティの全機能に対応するファームウエアが無いため、更新サービスはご提供していません。絶対にお送りにならないでください。

ＤＪ－ＤＰＳ７０は、運賃のみ往復自己負担していただければ、最新の仕様になるようにファームウエアの更新サービスを無償でご提供します。製品保証の有無は問いませんが、更新後は最低限の動作確認のみ行い、有償メンテナンス時のような細かいスペック、機構、防水の点検調整は行いません。尚、このファームウエアはバージョンの違いが通信の障害にならないので、修理や有償メンテナンスでお預かりした個体は更新を自動的に行いますが、不具合の修正では無いため修理内容報告書にはその旨を記載しないことがあります。

宛先：
〒541-0043 大阪市中央区高麗橋４丁目４－９
淀屋橋ダイビル　１３Ｆ
アルインコ　電子サービスセンター　ファームウエア係

電話 0120-464-007

発送は無線機本体だけをお送りください。返送時の梱包が大きくなると運賃が高くなるので製品の化粧箱は使わず、電池やアンテナなど一切の付属品も送らないでください。メモに「ファームウエア更新希望」と、返却先のお名前、ご住所、お電話番号、運賃着払いの受け取りがしやすい曜日、時間指定（到着日指定は不可）を記載して添付、エアキャップシートなどで保護してお送りください。１～５台であれば５営業日＋往復の運送時間以内で対応ができます。多数を一度に更新されたいときは、予め上記のサービスセンターのフリーダイヤルで、納期についてお問い合わせください。(平日１０～１２時、１３～１７時)

以上